

プログラミングコンテストを開催しました

■問い合わせ先 学校教育課 ☎(32)8918

12月15日、グリムの館において、第2回下野市プログラミングコンテストを開催しました。

2020年度から小学校でプログラミング教育が必修化となることに先行し、市では平成29年度から3年間、ソフトバンク・グループによる社会貢献プログラム「Pepperスクールチャレンジ」を実施しています。平成29年度に無償貸与されたPepper51体を使用して市内8校の小・中学校にてプログラミング教育をスタートさせました。今年度は市内全16校にてプログラミングの授業を実施し、子どもたちは自分たちが設定した課題を解決するプログラム作りに取り組みました。

プログラミング教育では、子どもたちがロボットやコンピュータを使用してプログラミングを学んでいくことで、論理的に思考する能力を高めていくことを大きなねらいとしています。子どもたちの間で議論を行い、試行錯誤を繰り返しながら自分たちが思い描いたプログラムを作り上げていきます。その過程の中で、どのような手順で処理をすばやく動作するのか、より効率のよいプログラムにするにはどうすればよいのかなど、図を使って話し合いながら学びを深めています。

今回のコンテストは、各校で取り組んだ学習の成果を広く紹介し、他校の児童生徒と交流することで、さらに創意工夫に満ちたプログラム作りに生かすことを目的として実施しました。

授業内部門の小学生の部のテーマは「身の回りで役立つPepper」、中学生の部のテーマは「社会の課題を解決するPepper」、部活動部門はフリーテーマで、合計27チームが競い合いました。まず課題を設定した理由やその解決方法についてプレゼンテーションソフト等を使用して解説し、その後Pepperを使ったプログラムの実演、そして、作成したプログラムの内容について工夫した部分や苦労した点の説明を8分間で行いました。

どのチームも、自分たちが設定した課題について工夫を凝らしたアプローチでプログラムを作成しました。そしてたくさんの来場者の前で、堂々と元気いっぱいに発表しました。コンテストの結果は次のとおりです。なお、各部門の1位のチームには、下野市の代表として、ソフトバンク・グループが実施する最終予選へのエントリー資格が与えられました。最終予選での審査の結果、南河内第二中学校のチーム二中Aとチーム二中Bが全国大会への出場権を獲得しました。



コンテスト結果

授業内部門 (A) 小学生の部

参加チーム数17チーム

第1位

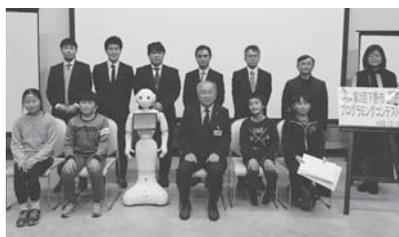
古山小学校Bチーム (古山小)

第2位

Green apples (緑小)

第3位

古山小学校Aチーム (古山小)



古山小学校Bチーム

授業内部門 (A) 中学生の部

参加チーム数5チーム

第1位

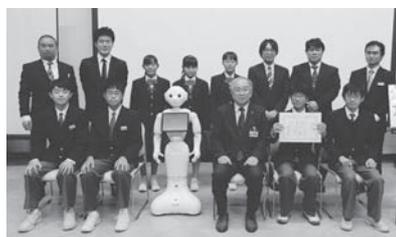
チーム二中A (南河内第二中)

第2位

チーム国中 (国分寺中)

第3位

チームNANKA (南河内中)



チーム二中A

部活動・クラブ活動部門 (B)

参加チーム数 5チーム

第1位

チーム二中B (南河内第二中)

第2位

古山小学校Cチーム (古山小)

第3位

祇園プロジェクトチームO (祇園小)



チーム二中B